



## PRESS RELEASE

### 新事業開発・アライアンス助成事業の新規採択について

東経連ビジネスセンター※は、新事業開発・アライアンス助成事業において、1件の採択を決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

同助成の採択件数は、今回の1件を加え、累計33件となります。

なお、支援申し込みは随時ホームページで受け付けており、4半期毎に、採択審査・決定予定です。

※ (一社)東北経済連合会が平成23年4月に設立した東北地域の産学連携等の支援や、企業のマーケティング、知的財産等の事業化支援を行う支援センターです。

#### 記

#### ■(株)toor(福島県三島町、代表取締役:高枝 佳男)

- ・支援テーマ：車両搭載加速度センサーデータ可視化によるインフラ劣化診断技術の開発
- ・支援先：(株) t o o r (平成24年設立、資本金 700万円)
- ・業務内容：「お客様が、膨大な情報を可視化することで、未だ誰も知らない新たな知見を発見し、御仲間やクライアントの皆様と共有する」ことを可能にするビッグデータ解析エンジン toorPIA (トピア)を提供する会社
- ・開発内容：道路の路面や橋梁の劣化を、自動車に搭載したドライブレコーダの加速度データから診断できるシステムを、東北大学の桑野研究室と共同開発する。すでに開発済みのデータマップ化ソフトウェア (toorPIA) により、道路区間毎の振動データを平面にプロットしてマップを作成すると、「正常区間」「路面劣化」「橋梁劣化」などのクラスタが形成される。マップ上で、劣化区間に対応したクラスタに帰属するセグメントを劣化区間と判別し、さらに劣化内容を分析することが可能となる。

#### ■リリースに関するお問い合わせ先

東経連ビジネスセンター 西山、中村  
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10 セントレ東北11階  
(一般社団法人 東北経済連合会 事務局内)  
Tel. 022-225-8561 Fax. 022-262-7055 <http://tokeiren-bc.jp/>



<参 考 1 >

◇過去の支援案件の紹介

No.	助成先	所在地	支援テーマ	研究期間
1	(有)ハード工業	青森県八戸市	高速燃焼流を用いる金属粉末の製造技術と装置の開発	平成 23 年 7 月～ 平成 24 年 6 月
	東北大学金属材料研究所	宮城県仙台市		
2	(株)コンド電機	福島県浅川町	2人乗り電気自動車の開発	平成 23 年 7 月～ 平成 24 年 6 月
	東洋システム(株)	福島県いわき市		
3	秋田県産業技術センター	秋田県秋田市	WC-SiC 基超硬材料を用いた難削材加工用工具の開発	平成 23 年 10 月～ 平成 24 年 9 月
	(株)東洋ドリル	秋田県羽後町		
4	大堀相馬焼協同組合	福島県浪江町	大堀相馬焼における代替材料及び新規デザインの開発	平成 23 年 10 月～ 平成 24 年 9 月
	福島県ハイテクプラザ	福島県会津若松市		
5	(株)鈴木酒造店	福島県浪江町	山廃酒母からの有用微生物の分離選択と新商品開発	平成 23 年 10 月～ 平成 24 年 9 月
	福島県ハイテクプラザ	福島県会津若松市		
6	(株)宮城化成	宮城県栗原市	光透性及び不燃性及び安全性に優れた複合材の研究開発	平成 23 年 10 月～ 平成 24 年 9 月
	産業技術総合研究所東北センター	宮城県仙台市		
7	東北文化学園大学	宮城県仙台市	特殊濾材を利用した放射能除染機及び濾材カートリッジの開発	平成 23 年 10 月～ 平成 24 年 9 月
	(株)アイワ・コーポ	福島県郡山市		
	(株)リアルトリート	福島県石川町		
	暮らしの科学研究所(株)	福島県郡山市		
8	会津大学	福島県会津若松市	群れ引率制御による水田除草システムのための移動機構の開発	平成 24 年 1 月～ 平成 24 年 12 月
	玉川エンジニアリング(株)	福島県会津若松市		
	(株)メカテック	福島県喜多方市		
	(株)北日本金型工業	福島県会津若松市		
9	(株)弘前機械開発	青森県田舎館村	パーチャルスライド装置高速化に向けた微振動性新装置の開発	平成 24 年 3 月～ 平成 25 年 2 月
	八戸工業大学	青森県八戸市		
10	(株)カサイ	新潟県新潟市	局所的土壌除染技術システムの開発・実証	平成 24 年 4 月～ 平成 25 年 3 月
	長岡技術科学大学	新潟県長岡市		
11	(株)東和	福島県本宮市	着用快適性に優れた防刃用衣料素材の開発	平成 24 年 4 月～ 平成 25 年 3 月
	福島県ハイテクプラザ	福島県郡山市		
12	石巻自動車関連集積部会	宮城県石巻市	香り長持ちインテリジェント芳香器	平成 24 年 7 月～ 平成 25 年 6 月
	(株)モリス			
	石巻専修大学			
13	あおもり藍産業協同組合	青森県青森市	青森独自の染料化技術を核とする「あおもり藍」ブランド商品の開発、製造	平成 24 年 10 月～ 平成 25 年 9 月
	大和科学工業(株)	東京都江戸川区		
	青森県産業技術センター工業総合研究所	青森県青森市		
14	(株)バルメソ	新潟県長岡市	高効率発電用機器構造部材の微視損傷検出装置	平成 24 年 10 月～ 平成 25 年 9 月
	東北大学大学院工学研究科	宮城県仙台市		
15	(株)クラーロ	青森県弘前市	低消費電力型顕微鏡用高輝度照明の開発	平成 24 年 10 月～ 平成 25 年 9 月
	(株)テクニカル			
16	(株)さんのう	宮城県仙台市	高性能な温調機能を持つ塗料の開発	平成 25 年 1 月～ 平成 25 年 12 月
	仙台高等専門学校	宮城県名取市		
	(株)TS 塗装技術研究所	宮城県利府町		
17	理研食品(株)	宮城県多賀城市	海藻麺の開発と商品化	平成 25 年 4 月～ 平成 26 年 3 月
	宮城県産業技術総合センター	宮城県仙台市		
18	(株)コムコム	宮城県仙台市	食用油酸化抑制装置『カラット君』の酸化抑制機能を向上させる新たな電極の開発・実証	平成 25 年 7 月～ 平成 26 年 6 月
	東北大学未来科学技術共同研究センター	宮城県仙台市		



19	アルバック東北(株) 八戸工業高等専門学校	青森県八戸市	アーク放電による新規ダイヤモンドコーティング装置の開発	平成 25 年 7 月～ 平成 26 年 6 月
	(株)田村薬草農場グループ NOSAI 宮城 北里大学獣医学部 日本全薬工業(株)	福島県相馬郡新地町 宮城県黒川郡大衡村 青森県十和田市 東京都千代田区	甘草による家畜の免疫賦活作用による疾病の予防	平成 25 年 7 月～ 平成 26 年 6 月
21	ヤマカノ醸造(株) 秋田県総合食品研究センター	宮城県登米市 秋田県秋田市	秋田白神こだま酵母を利用した新しいドレッシングの開発	平成 25 年 7 月～ 平成 26 年 6 月
	(株)ディメール こむぎ工房 東北大学大学院農学研究科	青森県八戸市 宮城県仙台市	冷凍棒寿司の再冷凍時の白蠟化防止法に関する研究	平成 25 年 7 月～ 平成 26 年 6 月
23	(有)オイカワデニム 宮城県産業技術総合センター	宮城県気仙沼市 宮城県仙台市	メカジキマグロを原料とした機能性動物性繊維の開発	平成 25 年 7 月～ 平成 26 年 6 月
	神田産業(株) (株)VIBE 産業技術総合研究所	福島県須賀川市 東京都品川区 茨城県つくば市	ハニカム構造ダンボールによる防音室の開発	平成 25 年 10 月～ 平成 26 年 9 月
25	金升酒造(株) 新潟薬科大学応用生命科学部	新潟県新発田市 新潟県新潟市	六条大麦生産の再生と地域ブランド焼酎の開発	平成 26 年 1 月～ 平成 26 年 12 月
	(株)日本アカモクサイエンス 小池獣医院 池田商店	福島県郡山市 新潟県小千谷市 福島県会津若松市	「泳ぐ宝石」錦鯉のためのサプリメント開発	平成 26 年 1 月～ 平成 26 年 12 月
27	三和油脂(株) 東北大学大学院農学研究科	山形県天童市 宮城県仙台市	米糠油の電気浸透圧搾製法の開発	平成 26 年 1 月～ 平成 26 年 12 月
	大丸カイエイ(株) 宮城大学食産業学部	宮城県石巻市 宮城県仙台市	汽水飼育ギンザケ「桜銀」の品質的優位性の立証	平成 26 年 4 月～ 平成 27 年 3 月
29	(株)エムエスデー (有)マッシュグループ	山形県天童市 山形県新庄市	加熱蒸気熱分解装置を活用した使用済み菌床の再生・利用検証と普及	平成 26 年 4 月～ 平成 27 年 3 月
	(株)会津技研 日立マクセル(株)	福島県西会津町 宮城県亘理町	六価クロムフリー樹脂めっき	平成 26 年 6 月～ 平成 27 年 6 月
31	NPO法人未来産業創造おおさき (株)プロスパイン 光電子(株)	宮城県大崎市 宮城県大崎市 宮城県大崎市	次世代型小水力発電ユニットの実用化及び製品化	平成 26 年 7 月～ 平成 27 年 6 月
	(株)Heptech 東北大学	宮城県塩竈市 宮城県仙台市	ストッキング・タイツ等の着圧計測センサシステムの開発	平成 26 年 7 月～ 平成 27 年 6 月



<参 考 2 >

## 新事業開発・アライアンス助成事業の概要

### 1. 目的

本事業は、新技術の開発に向けて、東北7県（新潟を含む）に所在する会社が、産学連携などのアライアンスにより他団体と取り組む共同開発に対して、100万円の助成を行い、東北地域の企業の競争力を強化することを目的としています。当センターの助成は、研究段階を終了し、新技術開発後の事業化や実用化を目的にした開発試作を対象にしております。

### 2. 応募資格

#### (1) 企業の要件

以下の全ての要件を満たすこと

- ・代表開発者は、主たる事業拠点を東北7県（新潟を含む）に置き、自ら技術開発と事業化を行う会社であることここでいう会社とは、会社法で定める会社を指す。
- ・1社単独での研究ではなく、共同研究先が1団体以上あることここでいう共同研究先とは、企業、大学等の研究機関、公設試験研究機関などを指す

#### (2) 開発技術の要件

以下の要件を概ね満たすこと

- ① 自社が保有する新規性・独創性のある技術であること
- ② 大学等、他の団体が保有する技術シーズを活用する場合には、本技術開発における利活用方法、アプリケーション等が新規性・独創性を持っていること
- ③ 食品等、生体に関わるシーズについては、その有効性、安全性等が、公的機関等により科学的に証明されていること
- ④ 類似の技術がある場合には、相対的にその技術の性能が大きく優れていること
- ⑤ アプリケーションの明確化が図られており、1年後に実用化の見込みがある技術であること。ここでいう実用化とは、量産の開始、量産試作品・プロトタイプの開発終了、技術供与の開始、サービス提供の開始などを指す
- ⑥ その技術の実用化により、東北7県（新潟を含む）に所在する応募企業の収益向上が大きく期待できること
- ⑦ 自社のみの利益に止まらず、東北7県（新潟を含む）の産業の発展や公共の利益に寄与すること
- ⑧ 東北7県（新潟を含む）の経済的・社会的発展や、そこに住む人々のモチベーション向上の喚起が期待できるような、話題性のある技術開発であること
- ⑨ 東日本大震災からの復興に資する技術開発であること

### 3. 助成金額

100万円を限度とする。

### 4. 研究成果の帰属

本助成事業の実施により発生した知的財産権は申請者に帰属することができる。

### 5. 募集および審査

通年で募集します。審査および助成の決定は、原則として四半期毎に、年4回行います。

以上